

【 7 月 例 会 】

日 時 7月20日(第3日曜日) 13時~16時30分

場 所 NTTクレドビル17階・ウィズセンター会議室

岡山市中山下1-8-45, TEL. 086-235-3307

— 岡電清輝橋行・「郵便局前」下車すぐ —

主 題 《子どもとのコミュニケーション》
～ 体験交流の中で深めましょう ～

【問題提起】— 家族会員Hさんの振り返りから

- ・ 中学以来の長男不登校から運転免許取得まで
- ・ 自身が職場の人間関係でつかんだ共通の教訓とは
- ・ コミュニケーション改善へのポイントは何か

【グループ別の話し合い】

各自の子どもとのコミュニケーションを振り返り、
プラスの体験・マイナスの体験を出し合いながら、
好ましい言葉かけや接し方について一緒に考え、
日常生活の中で生かしていきましょう。

【 8 月 例 会 】

日 時 8月10日(第2日曜日) 13時~16時30分

↑ 注意 ↓

場 所 NTTクレドビル17階・ウィズセンター会議室

主 題 【共に学び、共に歩む】

《 体 験 発 表 》 — 家族会員 Y さん

【 9 月 例 会 】

日 時 9月20日(第3土曜日) 13時~16時30分

↑ 注意 ↓

会 場 岡山県総合福祉会館 (県立美術館前)

↑ 注意 ↓ 岡山市石関町2-1 (TEL. 086-226-3501)

主 題 【全国の経験から学ぶ】

《 講 演 》 — 全国引きこもりKHJ親の会連合会
代 表 奥 山 雅 久 氏

1. 会長挨拶

2. グループ^{インタビュー}についてお願い（廣坂）

3. ビデオ学習 第2回

齋藤 環『《社会的引きこもり》実践的講座・理論編』より
～ 「子どもとのコミュニケーション」を中心に ～

4. 事務局より

5. グループ別 話し合い

— なるべく前回のメンバーでお集まりください —

① お互いの交流

② ビデオ学習について、体験を通しての話し合い

③ グループ・テーマの具体化

A) 初参加・2回目参加

B) 「わかば」グループ

C) 「居場所」構築及び脱出支援

D) 学習グループ・小グループ活動の推進

E) 《魅力ある会》にするには

F) 「グループインタビュー」

6. グループまとめ報告

7. 閉会挨拶

～ 片付け・解散

.....
〈資料〉 現行会則 ①6 当会の役員は、次の通りとする。

倒産でこの条文を
削除する件の上承
を得ました。

会 長	*****	
副会長	*****	*****
事務局長	*****	
幹 事	*****	*****
監査役	*****	*****

【訃報】 岡山金剛寺 津下光明住職 ご逝去

私たち「KH」岡山きびの会」の発足のための講演会場のご提供を初め、
当会にいろいろとご支援をいただきました金剛寺住職・津下光明様が5月
13日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

尚、6月9日の本葬には「きびの会」として参列させていただきました。

◇◇◇ お知らせ ◇◇◇

佐々木正美先生のBセミナー

- ・日時 6月24日(火) 18:30～20:30
 - ・場所 暮らしき健康福祉プラザ 201号室
倉敷市笹沖180 (086-434-9850)
 - ・主催 コミュニティカレッジ倉敷
 - ・テーマ 《引きこもり問題全般》
佐々木正美先生のお話の後、個別の質疑応答にも十分に時間をとって丁寧にお答えいただけます。
- 〈注〉コミュニティカレッジ倉敷では、他に〈Aセミナー〉で、自閉症をテーマにした勉強会も行なっています。

連絡先：(086-424-7622) 岸本

NHK教育TV 〈こころの相談室〉

6月24日(火) pm8:00～8:30 福祉ネットワーク
『引きこもり・サポートキャンペーン ～ 医療の援助が必要なとき ～ 』

[ゲスト] 斎藤 環 (精神科医)

4月から開始した「ネット相談室」には、これまで500件以上の相談が寄せられている。そのうちのおよそ4割近くが、精神科あるいは診療内科にかかっていることがわかった。「ひきこもり」は「病名」ではなく、「状態」であるといわれる。しかし現実には、さまざまな精神症状を伴う場合が多くある。たとえば、自己臭恐怖・醜形恐怖などを含む対人恐怖、妄想的な考え、手を洗うのがやめられないなどの強迫症状、摂食障害、抑うつ気分などなど。これらは、ひきこもりが長期化するに伴って悪化し、ひきこもりが中断すると消えてしまうことが多いことから、これらの精神症状はひきこもりに伴って2次的に起こってくるものだと考えられている。また、精神疾患の場合でも、ひきこもりに近い症状を示す場合がある。とりわけ統合失調症とは区別が付きにくいことがあり、早期に専門家による識別が必要だといわれている。

番組では、「ネット相談室」に寄せられた相談事例を紹介しながら、それぞれの精神症状があらわれたときのサポートのしかた、精神疾患との区別のしかた、そして精神科医にかかるときの留意点、薬物療法とカウンセリングについてなど、通常「ネット相談室」では直接答えられない「ひきこもり」と医療の関わりについて精神科医をスタジオに招き、解説していただく。

毎月・最終火曜日に〈引きこもり〉テーマ

ひきこもりサポートキャンペーン 第2弾 特集番組

「にんげん広場 ひきこもり ～ 心の扉を開けて社会へ ～ (仮)」

7月19日(土) PM 9:30～11:30 放送予定

番組をご注意・ご確認ください

7月29日(火) pm8:00～「ひきこもりサポートキャンペーン」

『社会参加・就労への道』

ひきこもっている人が最初の一步を踏み出すにはどういふきっかけがあるのか、そして、最大の壁である《働く》ことへの壁は何なのか、どのような社会的サポートの可能性があるのでしょうか。

社会参加したい、就労したいという本人の切実な声、実際に行動に移してみてぶつかる現実の壁をどう乗り越えたのかという体験例、もっとこんなサポートがほしいという社会への要望などを紹介しながら、あらためて「社会参加・就労」について、本人・家族・社会ができることを具体的に考えていきます。

「きびの会」 『母親教室』 第3回

～ 母親がたがいに心をひらき、まず自分が安心でき、
明るい気持ちで子どもに向き合えるように～

日時 7月24日(木) PM 1:30～4:00
場所 出石小学校 本館3階「きびの会」
指導 西紀子さん

元・高校養護教諭。悩みを抱えた生徒や母親たち多数と関わった来られた経験をもとに、「きびの会」に協力していただきます。カウンセラーの資格もお持ちで、長年にわたり心身リラックス法の研究・指導もしております。

～ 父親も大歓迎です

毎土曜、出石小学校へどうぞ

- 毎週土曜日10～12時、担当の花谷さんがいます。
- 〈居場所〉参加について、その他〈なんでも相談〉に、…
- 講演録音テープ・ビデオ・参考図書などもあり、…
- 家族会員お互いの〈ふれ合いの場〉として、…

～ 気楽にお越しください～

携帯・070-5306-9539 (土、10～12:00)

岡山きびの会
連絡電話

0868-23-3294 川島 (会長・津山)
086-424-7162 織井 (事務局・倉敷)
〔710-0815 倉敷市日吉町517-4〕
070-5306-9539 花谷 (出石小、土曜10～12時のみ)

※ いろいろなご事情で長期にわたって例会に参加できない場合は、通信費・実費(半年¥1000, 1年¥2000)で、例会資料などをお送りしています。

— 郵便振替口座「KHJ岡山きびの会」01380-6-77803 —